

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス かみふうせんとトレイス		
○保護者評価実施期間	2025年12月19日		～ 2026年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な資格を持った専門職が配置されていることで意見を出し合える。	会議の際に各専門職からの視点で意見を出し合ったり、情報共有を行ったりしている。また、その会議から児童の長所を活かした支援方法や短所の底上げのための支援方法を全員で提案、検討、改善し、児童だけでなく職員の成長にも繋げている。	個別支援計画書やアセスメント表などを意識し、集団活動内容や個別課題を工夫している。
2	自分で決めた事を守ろうとする、守れるようになる。将来に向けて自立できる様に支援する。	パレールポイント表の目標を本人に決めてもらって、その目標を達成できることでポイントを貯めることができるシステムを導入しており、達成感や自信に繋げることを目的としている。このシステムでは「挨拶」「手洗い」「片付け」など生活に結びつくような目標を設定しており、適切な行動が身に着くような支援を取り入れている。	ほしいものを得るために努力は必要である事をポイントを通じて知れるように、お菓子と目標それぞれにポイントをつけて児童自身が調べられるように一覧表にしている。また、目標までどれくらい必要かなど自身で計算する力、計画する力なども身に付けられるように声掛けを行っている。
3	社会の中で笑顔で過ごせるように個々の特性、能力に合わせてスモールステップで成長できるようにプログラムを編成している。	毎日異なったプログラムを集団で行うことで、協力し合うことの必要性、集団で遊ぶ事の楽しさ、守るべきルールなどを学べるように計画、支援を行っている。さらに、SSTでは距離感や言葉遣いなど人と関わる中で必要な能力を身に付けられるように、児童の様子を見ながら毎月の内容を検討している。	振り返り、分析、検討を全職員で繰り返し行っている。チャレンジも行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車を運転が出来る職員が少ない。	利用人数によって、施設外活動の際に大人乗車可能な車を借りなければ出かけることができない。また、運転担当に当たっていた職員が急遽休まなければ行けなくなった時には活動内容の変更を検討しなければならない。	運転出来る職員の求人
2	外部研修などに参加できていないので、職員個人のスキルを高め切れていない。	施設内での研修となっているため、新しい知見を得る機会を失っている。	外部研修に関する情報の収集
3	ペアレントトレーニングを行う機会を作れていない。	料金が発生する。休日の営業がないことと休日は児童が家にいる為、保護者の勤務上日程調整が難しい。 1回では厳しいので複数回の参加が必要になる。 横のつながりをつくる機会がないので、保護者ならではの相談、アドバイスができない。 事業所の立地上、駐車場が不足しており、複数人の受け入れが難しい。	希望者、講師、人材、職員の確保や日程調整。 トレーニング内容についてどうするのか、ニーズは何かの情報収集を行う。 保護者に日程調整がしやすいように早めに日程を組み、体育館などを借りて交流の場を作れるように工夫していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス かみふうせんトリス
------	----------------------

公表日 2026年2月12日

利用児童数 20名

回収数 18名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	72.2%	16.7%	5.6%	5.6%		利用する子ども達が十分に活動できるようなスペースを確保しています。契約時に説明を行うことで、児童だけではなく保護者にも安心感を抱いてもらえるように、周知とスペースの確保維持に努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	83.3%	5.6%	0.0%	11.1%		前年と比較すると、職員数は増加しているため、より目の行き届いた支援を提供できるように努めて参ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	61.1%	16.7%	0.0%	22.2%		入口は土足の場所を絨毯の色を変えて区切ることでバリアフリー化しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	88.9%	5.6%	0.0%	5.6%		アルコール消毒を玄関に設置しています。また、児童生徒への手洗いの徹底と指導を行っており、手洗い場には弱酸性の薬用洗剤とペーパータオルを設置し、衛生面の対策を徹底しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	76.5%	5.9%	5.9%	11.8%		アセスメントの結果から個別支援計画書、専門的支援実施計画書を作成し、指導員に周知伝達し、朝の会議で前日の児童の様子、今日の方針を話し合い、連携を取りながら日々療育を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%		毎月発行しているお便りに療育予定カレンダーを掲載し、それに沿った療育支援を提供しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%		利用開始前に保護者と面接を行い、お子様の様子や発達の状態、ニーズなどのヒアリングをし、それをもとにアセスメントを行い、個別支援計画書の作成を行っています。また、指導員や専門職の意見を含めて作成を行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	77.8%	11.1%	5.6%	5.6%	家族支援はあまり受けていないように思います。	モニタリングで伺ったお子様の特性などからどのような支援を行うか個別支援計画書に具体的に提示し、理由などを含めた説明をし、確認を取っています。より満足していただけるような支援を提供できるように努めて参ります。家族支援については、保護者からの申し込みがあった場合、その都度対応させていただいております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	計画に沿いきれてないことも多いですが、適宜よいようにしてもらっております。	計画を立てる際に、説明し納得していただいたうえで署名と捺印をいただいています。指導員にも計画内容を周知し、計画に沿った支援を提供できるように、努めて参ります。児童の状況を考慮して、計画に沿えない場合は、臨機応変に対応させていただいております。また、その都度、保護者には状況説明等を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	77.8%	5.6%	0.0%	16.7%		体幹トレーニング、季節行事に基づいた製作、集団でのソーシャルスキルトレーニングなど成長につながるプログラムを週ごとで構成しています。また、最近の児童の様子から、どのようなプログラムが適切か、指導員間で話し合い決めていきます。さらに、利用数が多い児童も楽しく参加できるように、日によって内容等を変更しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	27.8%	11.1%	22.2%	38.9%		現在そのような取り組みは行っておりません。状況を判断し、必要な際は検討して参ります。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%		ご利用前に見学や体験をしていただき、その際に活動内容などの説明を行っている。利用を希望された場合はサポートブックを配布し、情報提供頂いた内容とニーズをヒアリングした後個別支援計画書を作成し、契約後に説明を行っています。また、契約の際に重要事項説明書をお見せしながら利用者負担についての説明を実施しています。利用後に負担内容の変更などの重要事項に変更があった場合は、都度個別で説明し、そのうえで同意を頂いています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%		放課後等デイサービス計画の説明を行う際に、計画内容に納得してもらったうえで署名と捺印をいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16.7%	5.6%	44.4%	33.3%	ちゃんとみれていません。すみません。	ペアレントトレーニングは現段階では実施していないが、送迎や面談の際に、できる限りの相談を受け付けています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	82.4%	11.8%	5.9%	0.0%	LINEやHUGでのお知らせはみております。	送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフよりお伝えしています。半期に一度の定期的な面談と必要に応じて、家庭訪問や来所面談を行い、そこで課題についてお伝えしていきたいことがあるときや、保護者からの要望があれば管理者から個別で電話にて相談支援を行います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83.3%	5.6%	11.1%	0.0%		半期に一度の面談や送迎の際に、出来る限りの相談を受け付けています。保護者からの要望があれば管理者から個別で電話にて相談支援を行っています。このような支援があることを周知していただけるように今後は努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフよりお伝えしています。半期に一度の面談で最近の様子を伺い、その結果に応じた目標の設定、関わり方などの助言を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5.9%	17.6%	41.2%	35.3%		現在父母の会や保護者会の開催については予定しておりません。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83.3%	0.0%	5.6%	11.1%		送迎の際にできる限りの相談を受け付けています。また、時間を設けて再度相談をしたいという申し出があった場合は、出来る限り迅速に面談日程を調整し、不安解消に尽力しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77.8%	5.6%	5.6%	11.1%		柔軟な対応ができるようにLINEを活用し、欠席連絡や面談の日程調整などを行っています。相談やお問い合わせに対し、気持ちに寄り添った対応を心がけて引き続き相談支援を行って参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%		月に一度のお便りの配布と、ブログ・SNSで普段の療育の様子を発信しています。また、自己評価の結果もホームページに毎年掲載しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		職員一同、個人情報保護法を順守しています。契約の際に個人情報については書面及び口頭でお伝えし、承諾を頂いています。個人情報については鍵付きの書庫で保管しており、ブログでの写真掲載は個人が断定できないよう画像処理を行っています。また、日々の連絡帳での写真は該当利用者以外のお子様の顔は個人が特定できないように画像処理を行っております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	72.2%	5.6%	0.0%	22.2%		各マニュアル策定及び規定に準じた訓練を行っています。また職員がいつでも閲覧できるように保管しています。訓練は、毎月発行するお便りに訓練予定や訓練後は写真等を掲載して配布しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	61.1%	22.2%	0.0%	16.7%		避難訓練や防災プラザにて防災のプロから教わり体験をすることで、非常災害の発生に備えた訓練などを実施しています。訓練実施後は毎月発行するお便りやブログ・SNSで発信しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%		各マニュアル策定及び規定に準じた訓練を行っています。また職員がいつでも閲覧できるように保管しています。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	83.3%	11.1%	0.0%	5.6%		事故や怪我が発生した時には、保護者に迅速に連絡を入れ、経緯、施した処置、状態を説明し、今後の対応について相談し、対応させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		今後も子どもたちが安心してかつ安全に通所できるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	77.8%	11.1%	5.6%	5.6%	楽しいものがあるのですが週末の疲れが大爆発しているようにも思えます。	今後も子ども達のその日の体調、気持ちを尊重しながら、通所を楽しみにしてもらえるように療育プログラムの企画、環境整備の徹底を心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	83.3%	11.1%	0.0%	5.6%	子どものベースに合わせた対応していただき助かっております	引き続き、子ども達のベースや特性を考慮しながら、自立に向けた支援を提供できるように最善を尽くしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス かみふうせんトトレイス				公表日	2026年2月12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	十分なスペースを確保できている。	今後も継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	施設基準規定以上の職員数での対応を行っており、より良い専門的な療育の提供を適宜行っている。	改善点はないか全員で意識し、話し合いを行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	子どもたちが主に活動する場所には安全に活動できるようにマットをひき、ケガにつながらないように環境作りしている。	さらなる改善が出来るように努める。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	常に整理整頓を心がけ、安全に過ごせるように角をなるべくなくすなどの配慮している。また、季節や行事などが感じられるように壁面などを工夫している。	子どもたちにとって過ごしやすい空間を作れるように、さらなる改善に努める。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンをしたい時や静かに過ごしたい時のために別室を用意している。	保護者との面談等で別室が使用できない時があるため、その時はどのように対応していくか指導員間で検討し、さらなる改善に努める。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日全員でミーティングを行い、気付きや考えなど意見を交換し、改善に努め、みんなで周知している。毎朝MTGにて前日の振り返り、当日の注意点等話し合っている。	今後も継続し、より良い療育に繋げていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	当社ホームページ内においていつでも閲覧可能となっている。	今後も継続する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々個々に合った支援、仕事内容の改善を行っている。	従来通り継続し、業務改善に努める。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在、外部から評価や業務改善に関するアドバイスを受けたことはない。	検討し、今後そのような機会を設け、業務改善に努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	適宜研修を開催し、職員の資質向上及び業務改善に努めている。	従来通り継続し、職員のさらなる資質向上に努める。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	翌月のプログラムを職員で会議し、毎月の発行するお便りに週ごとのプログラムを掲載している。	今後も継続する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者のモニタリングや送迎時に行っている日々の連絡業務などから支援計画会議を行い、検討している。	今後も保護者との連携を図り、放課後等デイサービス計画書を作成していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々の情報共有に加えて、モニタリング時に子どもの様子を再度共有、検討している。作成前にも意見を聞き、作成後には再検討を行って、共通理解した上で保護者に提案を行っている。	今後も継続し、子どもの特性等を考慮した放課後等デイサービス計画書の作成に努める。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	放課後等デイサービス計画書作成時に全職員と確認し、支援方法等共有し、検討、実施をしている。	従来通り計画に沿った支援を提供し、より良い療育を努めていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	心理検査などフォーマルなアセスメントは行っていないが、日々の行動観察を含むインフォーマルなアセスメントに関しては行っており、毎日のミーティングで気付きを共有するように心がけている。	引き続き日々の行動観察を行って、子どもの成長など気付きを共有することで、より良い療育を提供できるように努めていく。また、フォーマルなアセスメントについても検討していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	子どもの成長や様子など、職員全員で適切な支援が出来るかを確認や意見など話し合い、日々の支援がより良いものになるように努めている。	従来通り計画に沿った支援を提供し、より良い療育を努めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	月初に会議を行い、それぞれ考案した企画を持ち寄って、プログラムを組んでいる。毎月意見を出しあって楽しめるように同じ内容にならない様になっている。週ごとにプログラムを変えたり、同じ内容でもルールを変えたりする。	従来通り継続してチームでの立案に努める。	

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	週ごとに療育プログラムを決めて活動内容は曜日ごとの担当指導員が考え、朝のミーティングで共有し、改善・検討を行っている。毎月意見を出しあって楽しめるように同じ内容にならない様になっている。	従来通り継続して工夫に努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用者に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画立案及び支援を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	どんな事でも職員間で共有できるようにしている。毎朝ミーティングを行い、活動内容等を担当者が共有、役割分担を確認している。	従来通りチームで連携を取り、支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日全員でミーティングを行い、気付きや考えなど意見を交換し、改善に努め、みんなで周知している。	従来通り継続して支援を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	HUGを使用し、毎日保護者に一日の様子を報告している。またその記録をもとに、支援内容の検討、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	従来通り継続して、日々保護者への報告を怠らず、支援の検証および改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度モニタリングで伺ったお客様の特性等からどのような支援を行うか個別支援計画書に具体的に提示し、理由などを含めた説明をし、確認を取っています。また、指導員にも周知し、支援を提供しています。	従来通り継続して支援を行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	0%	100%	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせた支援を提供している。	「地域交流」の機会をつくれず、行えていないため、今後検討し、支援の改善に努める。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	ポイント表では自身で目標を決める欄を用意したり、ポイントでお菓子を交換する際には自身でポイントをどれくらい使い、何と交換するかを決め、個別課題ではどのプリントを頑張るか、集団活動、掃除当番など複数の選択肢の中から決定してもらっている。	今後も継続する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	HUGの記録や職員の報告。支援にも取り組み、会議参加前に気になる点はないか等意見を朝の会議で聞き取ったうえで、児発管が参加している。	今後も継続する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	日々の送迎の際に学校に子どもの様子など情報提供および共有を行っている。	今後も継続する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	お便りが発行された際にはLINEでお便りの写真を送付してもらい、行事や下校時間などを把握し、トラブル発生時や当日の送迎変更などはLINEや電話などで連絡を取り合っている。	今後も継続する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	紙面での情報共有は得ている。	今後も継続する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	移行児童はいない	移行があった際にスムーズに情報提供が出来るように情報精査を適宜行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	外部研修には積極的な参加はできていない。	今後参加を検討し、業務改善に努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	行えていない。	従来通り継続して行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	協議会開催がなされている情報がないため参加に至っていないが、協議会開催の情報があれば随時参加していく。	今後参加を検討し、業務改善に努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	HUGのサービス提供実績記録を使用し、当日の様子を伝えるとともに、送迎時にも詳しい情報を行っている。	今後も継続する。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	送迎時やモニタリングの際に相談を受けるようにしているが、ペアレントトレーニングなどは行っていない。需要があるため、今後計画、検討する。	今後計画、検討を行う。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に丁寧に説明を行っている。	今後も継続する。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングの際にご家族の意向や子どもの特性を加味した目標設定や支援方法を考え、計画している。	今後も継続する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	放課後等デイサービス計画書の説明を行う際に、計画内容に納得してもらったうえで署名と捺印をいただいています。	今後も継続する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎の際にできる限り相談を受け付けています。また、時間を設けて再度相談したいという申し出があった場合は、出来る限り迅速に面談日程を調整し、不安解消に尽力しています。	今後も継続する。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	現在父母会やきょうだい同士での交流を行えるような催しは開催していない。	夏祭りや行事イベントなどを開催し、保護者やきょうだい同士が交流できる機会を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった時には職員に全体周知、児発管の指示のもと対応を行っている。自社内で判断出来ない際には市の障害福祉課に助言を求めながら迅速に対応している。	今後も継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月のお便り配布で普段の療育の様子や行事予定当をお知らせしている。またブログやインスタでの情報発信も行っている。	今後も継続する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員一同、個人情報保護法を遵守している。契約の際に個人情報については書面及び口頭でお伝えし、承諾いただいている。個人情報については鍵付きの書庫で保管しており、SNSやブログでの写真掲載は個人が断定できないような画像処理を行っています。日々の連絡帳での写真は該当利用者以外のお子様以外の顔は個人が特定できないよう画像処理を行っており、職員全員が徹底している。	今後も継続する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	目から情報を入れるために絵カードやクレヨン、指差し等を利用し、スケジュールや説明の理解が及びやすいような工夫、また絵カードやボディラングージで自身の気持ちを伝える方法を伝えている。加えて、状況や児童の特性に応じて、学校と共有の手話や1体1の対応も行っている。	今後も継続する。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	SNSやブログで普段の様子を発信しているが、地域交流などの場は設けたことがない。	今後計画、検討を行う。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアル策定及び、規定に準じた訓練を行っている。マニュアルについては職員がいつでも確認できる場所に保管している。	今後も継続する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPマニュアルの策定及び、1年間に2回の地震、火災の避難を行い、規定に準じた訓練を行っている。	今後も継続する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認するとともに、服薬などサポートブックに記入してもらい、児童のファイルに綴じ、職員がいつでも確認できるような場所に保管している。また、服薬が変更になった際には職員全員に共有し、児童の様子を見ながら支援を行っている。	今後も継続する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に確認するとともに、サポートブック記入してもらっている。また、アレルギーを持った利用者の一覧表を作成して、すぐに確認できるようにしている。	今後も継続する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、安全管理に徹底している。	今後も継続する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約の際に丁寧に説明を行っている。また、トラブルや怪我をした際にはLINEや電話、送迎時に状況を連絡し、今後の対応について相談させていただいております。	今後も継続する。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット提出後、ミーティングでの情報共有、いつでも確認できるようにファイルをまとめて保管している。	今後も継続する。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員研修で虐待防止研修を行っている。また、起こりやすい職場状況を確認している。加えて、職番の環境と職員間の人間関係も風通しもよくしている。	今後も継続する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に身体拘束について説明し、了承を得たうえで書類にサインをいただき、職員にも周知している。	今後も継続する。